

昨年度評価(R3年度)								
【主たる中施策事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R3年度決算①	5_R4年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	7_所属
4	いじめ不登校対策充実事業		B	27,310	31,096	3,786	コロナ禍の日常が長引くにつれて、児童・生徒の生活面にも影響が出始めている。小中学生の不登校の生徒は100人を超えており、学校はSCやSSWと連携しながら対応に当たっているが、原因は複雑多様であり、解消への道のりが困難なケースも増えてきている。今後は教育部門だけではなく、重層的支援体制下のもと、他分野の専門職とも連携し、解消に向けていく必要がある。	学校教育課
38	学力向上対策事業	・豊明セーフティプラスワン委託事業 ・学校水泳運動指導業務委託事業 ・少人数学級の実施に係る任期付市費負担教員配置事業	B	97,095	77,396	-19,699	二村台小学校で先行実施した全学年少人数学級の導入については、様々な面での効果があり、令和4年度からは全小学校で実施することとなった。水泳運動指導業務の委託についても、習熟度別に個別指導が行えるため、効率的かつ効果も上がっており、令和4年度からは全小学校での委託実施とした。セーフティプラスワン事業については、館小のみの実施であり、費用対効果や平等性の観点からも、今後の方向性を検討する。	学校教育課
38	指導力向上事業		B	4,761	16,229	11,468	協同の学びを継続して行っており、児童生徒の自主性や主体性が芽生え、成果も出てきている。更により良いものにしていくためには、教職員の更なるスキルアップが必要になる。学習用端末を使った授業が始まり1年が経過したが、教員間でのICTの活用に、差が出始めている。GIGAスクールサポーターやICT支援員を活用し、研修会の実施等によりICTが苦手な教員のスキルの向上を図る。	学校教育課
38	定住外国人児童生徒支援事業	・定住外国人日本語教育推進プレクラス・プレスクール事業	A	39,561	41,106	1,545	以前定住外国人と言えば、豊明団地周辺に在住するポルトガル語圏の人が大半であったが、現状は多民族、多言語化に変わっており、居住も市内各所に点在している。令和3年度から日本語指導専門員を配置し、豊明市全体の支援体制の構築を図った。プラスエデュケートとも更に連携して、日本語初期指導から学習言語指導までの、連続的な支援体制を、更に進めていく。	学校教育課
90	新設校開設事業		-	-	-	-	統合後のアンケート調査では、「二村台小になって友達が増えた」と95%以上の児童が回答した。保護者も同様に、90%以上が増えたと回答している。「毎日楽しく学校に通っているか」との問いには、94%の児童が楽しく学校に通っていると答えており、統合により交友関係が広がり、友達も増えて、多様な個性を尊重する豊かな人間関係を作ることができている。	学校教育課
21	学校給食事業	・給食の充実補助事業 ・給食センター栄調理場調理業務委託事業	B	391,748	419,760	28,012	昨年2学期より栄調理場の業務を民間委託に切り替えた。移行に当たり特に問題も発生せず、業務の引継ぎが行えた。また栄調理場の正規職員を中央調理場に異動させたことにより、調理場の正規職員の比率が高まり、より安定した業務の運営ができるようになった。	学校教育課
17	青少年対策事業	・放課後子ども教室委託事業 ※令和4年度から、学校教育課(放課後育成事業)へ移管	A	55,922	5,566	-50,356	子供たちの放課後の居場所づくりについては、すべての学校で同一水準のサービスが提供できるよう学校に対して協力要請をし、令和4年度中には館小学校を除いて、すべての学校内で、週5日間放課後子ども教室を実施できる体制を整備できた。	生涯学習課
21	公民館管理運営事業	・とよあけ市民大学ひまわり講座運営委託事業	B	24,398	25,258	860	新型コロナウイルスの蔓延に伴い、中央公民館は年間を通して利用できない状況が続いた。一方で、市民大学ひまわりは、感染症対策に留意しながら、年間を通してほぼ計画通りの講座を開催し、2500人以上の参加者を集めることができた。安定した生涯学習事業を展開するために、中央公民館を閉館し、拠点を共生交流プラザに移すこととした。	生涯学習課
	図書館資料貸出事業		B	33,306	41,780	8,474	新型コロナウイルスの影響下にもかかわらず、貸出冊数や予約件数は、コロナ前の水準を上回り、来館者の数も、あと一步のところまで回復してきた。利用者の満足度を高める施策を継続し、新たな顧客を掘り起こす必要がある。また、南部公民館及び図書室の利便性向上のため、利用者の意見も参考にしながら改修工事の設計業務を行った。	図書館

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「3_総合評価」から「6_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。